

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																																														
1 孤独から要 支援者を守る ための取 組み	話し相手ポ ランティア事 業	49	社協	話し相手と なるポラン ティアが独 居高齢者を 訪問するこ とにより、高 齢者の孤独 感や不安を 解消する。	<p>①話し相手ボランティアの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣希望者や介護事業所(ケアマネ)等からの依頼を受け、登録ボランティアを派遣</li> <li>ボランティアが依頼者の自宅等を訪問、世間話などを一緒に楽しむ。</li> <li>対象者の様子に気になる点があれば社協やボランティアセンターに報告</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">依頼者数</td> <td>新規★</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>年間</td> <td>21人</td> <td>23人</td> <td>19人</td> <td>23人</td> <td>24人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>3.31時点</td> <td>19人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>16人</td> <td>19人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>登録ボランティア数★</td> <td>92人</td> <td>79人</td> <td>70人</td> <td>42人</td> <td>100人</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>実際に活動しているボランティア数</td> <td>26人</td> <td>14人</td> <td>18人</td> <td>20人</td> <td>24人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度末時点依頼者数(19人⇒15人)                      →新規依頼者7人、派遣中止11人、合計4人減少                      →新規依頼は包括支援センター等のケアマネジャーによる。取消理由は入院など。                      ・登録ボランティア数(100人⇒124人) 24人増、内新規登録者は13人                      →昨年度、取消された方にフォローアップ研修会の案内や講座、活動案内を行い参加を呼びかけた結果、再度登録し活動を希望する方がいた。</p> <p>②広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区民児協定例会、福推協、ふれあいサロン、食事サービス料理教室でチラシ配布し説明</li> <li>介護事業所(通所介護、居宅介護等)にチラシを配布。通所介護事業所は職員が訪問して事業説明を行った。</li> <li>ボランティア情報誌「くれよん」に特集記事を掲載</li> </ul> <p>③養成講座★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成29年5月18日(木) 場所：させぼ市民活動交流プラザ 参加者：26人</li> <li>内容：「ボランティア活動について」「高齢者の特性、コミュニケーションの取り方について」「話し相手ボランティア活動者の体験談」</li> <li>講師：佐世保市社会福祉協議会地域福祉課・在宅介護課職員、話し相手ボランティア</li> <li>※養成講座受講者には修了証を発行</li> </ul> <p>④フォローアップ研修会</p> <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成29年6月21日(水) 場所：させぼ市民活動交流プラザ 参加者：30人</li> <li>内容：話し相手ボランティアに必要な円滑なコミュニケーションの取り方</li> <li>講師：ソーシャルサポートいけだ 池田 和枝氏(社会福祉士)</li> </ul> <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年10月26日(木) 場所：させぼ市民活動交流プラザ 参加者：14人</li> <li>内容：「悪質商法・特殊詐欺の現状と対策法について」</li> <li>講師：佐世保警察署 生活安全課 宮下 大吾氏</li> </ul> <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年2月23日(金) 場所：させぼ市民活動交流プラザ 参加者：24人</li> <li>内容：「相続と遺言の基礎知識について」</li> <li>講師：長崎地方務局佐世保支局 山下 恭司氏</li> <li>※平成29年度定例会を廃止し、研修会を増やした。</li> </ul>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	依頼者数	新規★	5人	4人	6人	11人	8人	7人	年間	21人	23人	19人	23人	24人	26人	3.31時点	19人	13人	12人	16人	19人	15人	登録ボランティア数★	92人	79人	70人	42人	100人	124人	実際に活動しているボランティア数	26人	14人	18人	20人	24人	26人	新規依頼者数	目標値 (累計)	5人 (18人)	5人 (23人)	5人 (28人)	5人 (33人)	5人 (38人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規依頼者数が目標数を上まわった。</li> <li>→一見見協や介護事業者への事業説明のほか、いきいきサロンや各研修会等での周知活動による成果と考えられる。</li> <li>→同方法による周知を継続する。</li> <li>○施設入所者への派遣依頼が増加</li> <li>→既に派遣している施設からの依頼もあり、ボランティアによる利用者の精神の安定等の効果が現れている。</li> <li>→ボランティアの活動機会の確保につながるため、依頼に基づき対応する。</li> <li>○活動意欲が低下しないよう話し相手ボランティア以外の活動(施設行事の補助・交流、障がいの付き添い、広報紙発送作業など)を紹介した。</li> <li>→依頼件数を大幅に増加させることは難しいため、同方法によるマッチングも引き続き実施し、登録ボランティアの活動の場を増やす。</li> </ul>	○目標は概ね達成されている。今後は、ボランティア活動全体に対するニーズを掘りだしたい。	3																																		
					項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																																	
					依頼者数	新規★	5人	4人	6人	11人	8人	7人																																																																																
						年間	21人	23人	19人	23人	24人	26人																																																																																
3.31時点	19人	13人	12人	16人		19人	15人																																																																																					
登録ボランティア数★	92人	79人	70人	42人	100人	124人																																																																																						
実際に活動しているボランティア数	26人	14人	18人	20人	24人	26人																																																																																						
養成講座実施回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フォローアップ研修の回数を増やしたことで、多くのボランティアの参加があり、研修機会の確保とボランティア同士の交流を図ることができた。</li> <li>→引き続き実施する。</li> </ul>																																																																																				
	実績値	1回	1回	2回	1回																																																																																							
	達成度	100%	100%	100%	100%																																																																																							
2 要支援者を 資金的に支 援するための 取組み	佐世保市福 祉資金貸付 事業	50	社協	少額短期の 資金貸付に よる一時的 資金需要の 補完や、課 題解決に向 けたアドバ イスや多制 度へのあつ せんを行う ことにより、 困窮者の自 立を支援す る。	<p>・貸付実績 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般世帯</td> <td>115</td> <td>3,370</td> <td>127</td> <td>3,328</td> <td>110</td> <td>3,148</td> <td>106</td> <td>2,550</td> <td>95</td> <td>2,091</td> <td>96</td> <td>2,078</td> </tr> <tr> <td>生保申請中の世帯</td> <td>151</td> <td>2,920</td> <td>146</td> <td>2,850</td> <td>140</td> <td>2,730</td> <td>165</td> <td>3,260</td> <td>139</td> <td>2,725</td> <td>108</td> <td>2,125</td> </tr> <tr> <td>生保受給中の世帯</td> <td>140</td> <td>3,207</td> <td>138</td> <td>3,062</td> <td>96</td> <td>2,109</td> <td>111</td> <td>2,363</td> <td>114</td> <td>2,471</td> <td>83</td> <td>1,945</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>406</td> <td>9,497</td> <td>411</td> <td>9,240</td> <td>346</td> <td>7,987</td> <td>382</td> <td>8,173</td> <td>348</td> <td>7,287</td> <td>287</td> <td>6,148</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談対応時に生活困窮者自立支援事業の担当者も同席し、資金の貸付だけでなく、他制度やサービスの紹介等、生活全般の助言や支援を行った(310件)。そのうち、就労に繋がったもの(15件)、課題の改善が見られたもの(100件)、生活保護の申請に繋がったもの(30件)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民児協定例会等で、制度の周知を図った。小佐々地区民児協(7/11)、日宇地区黒髪民児協(10/25)、江迎地区民児協(1/15)。</li> <li>・初期滞納世帯への電話での状況確認及び償還指導(対象：510件)を行った。</li> </ul>	項目	H24		H25		H26		H27		H28		H29		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	一般世帯	115	3,370	127	3,328	110	3,148	106	2,550	95	2,091	96	2,078	生保申請中の世帯	151	2,920	146	2,850	140	2,730	165	3,260	139	2,725	108	2,125	生保受給中の世帯	140	3,207	138	3,062	96	2,109	111	2,363	114	2,471	83	1,945	合計	406	9,497	411	9,240	346	7,987	382	8,173	348	7,287	287	6,148	【参考】 貸付件数	346件	382件	348件	287件			<ul style="list-style-type: none"> <li>○有効求人倍率は前年度と同程度であり、景気は緩やかに回復が続いている状況が見られる。一般世帯への貸付件数が減少していることの一因ではないかと思われる。</li> <li>→生活困窮者自立支援事業との連携した対応を継続し、貸付を行うだけでなく、就労に向けた支援など対象世帯の自立に向けた継続的な支援を行う。また、償還の滞納者について、状況把握に努め、必要に応じて生活困窮者自立支援事業へ繋ぐ等の必要な支援を行う。</li> </ul>	○同様の内容での継続が適当	3
					項目		H24		H25		H26		H27		H28		H29																																																																											
						件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																											
一般世帯	115	3,370	127	3,328	110	3,148	106	2,550	95	2,091	96	2,078																																																																																
生保申請中の世帯	151	2,920	146	2,850	140	2,730	165	3,260	139	2,725	108	2,125																																																																																
生保受給中の世帯	140	3,207	138	3,062	96	2,109	111	2,363	114	2,471	83	1,945																																																																																
合計	406	9,497	411	9,240	346	7,987	382	8,173	348	7,287	287	6,148																																																																																
	【参考】 貸付金額	7,987千円	8,173千円	7,287千円	6,148千円			<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象者への事業の周知のため、社協だよりやホームページを通じた広報は適当である。民生委員や生活困窮者自立支援事業との連携もしており、対象者への周知や継続した支援に繋がっている。</li> <li>→これまでと同様に、周知活動を継続する。</li> </ul>																																																																																				
	達成度	13%	73%	100%	87%																																																																																							
													達成度平均値	96%																																																																														

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																																																						
2 要支援者を 資金的に支 援するため の取組み	長崎県生活福祉資金貸付事業	51	社協	一定期間の生活資金や特定目的の費用負担に対する貸付により、困窮者の自立を支援する。	<p>【参考】 貸付実績</p> <p>(単位:件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨時特例口なぎ資金</td> <td>12</td> <td>1,130</td> <td>9</td> <td>878</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>1</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>29</td> <td>6,201</td> <td>13</td> <td>2,842</td> <td>1</td> <td>195</td> <td>7</td> <td>1,551</td> <td>8</td> <td>1,371</td> <td>4</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>198</td> <td>104,037</td> <td>122</td> <td>56,124</td> <td>115</td> <td>66,606</td> <td>135</td> <td>73,694</td> <td>82</td> <td>40,008</td> <td>111</td> <td>82,570</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>39</td> <td>30,961</td> <td>38</td> <td>20,656</td> <td>23</td> <td>20,611</td> <td>42</td> <td>40,757</td> <td>17</td> <td>11,013</td> <td>23</td> <td>27,193</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>278</td> <td>142,329</td> <td>182</td> <td>80,500</td> <td>141</td> <td>87,612</td> <td>185</td> <td>116,102</td> <td>107</td> <td>52,392</td> <td>138</td> <td>110,483</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談対応時に生活困窮者自立支援事業の担当者も同席し、資金の貸付だけでなく、他制度やサービスの紹介等、生活全般の助言や支援を行った(310件)。そのうち、就労に繋がったもの(15件)、課題の改善が見られたもの(100件)、生活保護の申請に繋がったもの(30件)。          ・民児協定例会等で、制度の周知を図った。小佐々地区民児協(7/11)、日宇地区黒髪民児協(10/25)、江迎地区民児協(1/15)。          ・初期滞納世帯への電話での状況確認及び償還指導(対象:378件)を行った。</p>	項目	H24		H25		H26		H27		H28		H29		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	臨時特例口なぎ資金	12	1,130	9	878	2	200	1	100	0	0	0	0	総合支援資金	29	6,201	13	2,842	1	195	7	1,551	8	1,371	4	720	教育支援資金	198	104,037	122	56,124	115	66,606	135	73,694	82	40,008	111	82,570	その他	39	30,961	38	20,656	23	20,611	42	40,757	17	11,013	23	27,193	合計	278	142,329	182	80,500	141	87,612	185	116,102	107	52,392	138	110,483	<p>【参考】 貸付件数</p> <p>141件</p> <p>185件</p> <p>107件</p> <p>138件</p>	<p>【参考】 貸付金額</p> <p>87,612千円</p> <p>116,102千円</p> <p>52,392千円</p> <p>110,483千円</p>	<p>○有効求人倍率は前年度と同程度であり、景気は緩やかに回復が続いている状況が見られる。離職者を対象とする総合支援資金の件数が減少していることの一因ではないかと思われる。</p> <p>○就学に係る教育支援資金や技能習得費の貸付が大きく増加。また、要保護世帯不動産担保型生活資金の貸付(1件:7,500,000円)があり金額の増加に影響している。</p> <p>一目的別の貸付であるため、件数や金額で評価することは難しい。</p> <p>一生活困窮者自立支援事業との連携した対応を継続し、貸付を行うだけでなく、就労に向けた支援など対象世帯の自立に向けた継続的な支援を行う。また、償還の滞納者について、状況把握に努め、必要に応じて生活困窮者自立支援事業へ繋ぐ等の必要な支援を行う。</p> <p>○対象者への事業の周知のため、社協だよりやホームページを通じた広報は適当である。民生委員や生活困窮者自立支援事業との連携しており、対象者への周知や継続した支援に繋がっている。また、教育支援資金や技能習得費については、長崎県社協が高校の進路指導担当者との会議での事業説明を行い、周知活動を行っている。</p> <p>一これまでも同様に、周知活動を継続する。</p>	○同様の内容での継続が適当	3
	項目	H24		H25			H26		H27		H28		H29																																																																																							
件数		金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																								
臨時特例口なぎ資金	12	1,130	9	878	2	200	1	100	0	0	0	0																																																																																								
総合支援資金	29	6,201	13	2,842	1	195	7	1,551	8	1,371	4	720																																																																																								
教育支援資金	198	104,037	122	56,124	115	66,606	135	73,694	82	40,008	111	82,570																																																																																								
その他	39	30,961	38	20,656	23	20,611	42	40,757	17	11,013	23	27,193																																																																																								
合計	278	142,329	182	80,500	141	87,612	185	116,102	107	52,392	138	110,483																																																																																								
生活困窮者自立支援事業	55	社協	困窮者が生活保護に至る前の段階で、経済的困窮や社会的孤立から脱却できるよう支援を行う。	<p>①生活困窮者自立相談支援事業</p> <p>・平成26年度の生活困窮者自立促進支援モデル事業を経て、平成27年4月施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき市から委託された事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">受付相談件数</td> <td>408</td> <td>664</td> <td>630</td> <td>748</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対 応 状 況</td> <td>本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)</td> <td>58</td> <td>87</td> <td>124</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)</td> <td>181</td> <td>332</td> <td>241</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)</td> <td>169</td> <td>245</td> <td>265</td> <td>396</td> </tr> </tbody> </table> <p>《他事業との連携による支援の一例》 ※本事業において対応した件数で、複数カウントあり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧物資緊急支給事業(3件)</li> <li>・住居確保給付金支給事業(14件)</li> <li>・学習支援事業(3件)</li> <li>・生計困難者レスキュー事業(9件)</li> <li>一経営者協議会加盟施設と連携し、ライフライン休止危機や家賃支払いなど、緊急時に幅広く対応している。 ※平成29年度から本会も加盟し拠出金を負担</li> <li>・居場所づくり事業(12人)</li> <li>一参加者には心のリハビリが図られ、プログラム活動に積極的に参加する等の効果が現れている。</li> <li>居場所活動を通じて、自己肯定感が高まり、就労移行支援事業の利用にもつながっている。</li> <li>平成29年4月～平成30年3月まで計98回実施。活動内容は「くろろぎ活動」「社会参加活動(作品製作)」であった。</li> </ul> <p>《支援によって得られた変化の一例》 ※件数は複数カウントあり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労開始(33件)…生活保護受給者等就労促進事業による就労支援や職業訓練へのつなぎを行った。</li> <li>・住居の確保(24件)…保証人不要物件物件の情報提供、住居確保給付金の対応、不動産業者へ同行し、状況説明などの支援を行った。</li> <li>・生活保護へのつなぎ(17件)…病氣や障害など自立困難な要保護状態の対象者は生活福祉課への同行支援等を行い、速やかに生活保護へつなぎ、生活の安定を図った。</li> <li>・精神の安定(15件)…就労でつまずき、自信をなくした無職者やひきこもり等への相談援助から自意欲の向上・改善が見られたり、精神の安定が図られた。</li> <li>・医療機関受診開始(10件)…対象者の受診同行及び医療機関との調整等を行い、適切な医療機関への受診の促しを行った。</li> </ul>	項目		H26	H27	H28	H29	受付相談件数		408	664	630	748	対 応 状 況	本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)	58	87	124	112	他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)	181	332	241	240	情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)	169	245	265	396	<p>新規対応ケース</p> <p>目標値 (累計)</p> <p>実績値 (累計)</p> <p>達成度</p>	<p>10件 (10件)</p> <p>58件 (58件)</p> <p>100%</p>	<p>3件 (13件)</p> <p>87件 (145件)</p> <p>100%</p>	<p>3件 (16件)</p> <p>124件 (269件)</p> <p>100%</p>	<p>3件 (19件)</p> <p>112件 (381件)</p> <p>100%</p>	<p>3件 (22件)</p>	<p>○相談支援員による対象者への継続的な支援により、生活困窮状態からの脱却につなげることができている。</p> <p>一多様な複合的な課題を解きほぐしながら、本人の状況に応じた必要な支援を引き続き実施する。</p> <p>○市役所各課や関係機関との連携によるケース支援を通じて周知浸透ができ、相談件数の増加につながっている。</p> <p>一今後も庁内連携会議等の各種会議やケース支援を通じて、さらに周知浸透を図っていく。</p> <p>○ライフ佐世保や市政だよりによる広報を見て、相談につながったケースが増加した。</p> <p>一今後も引き続き掲載し、効果的な周知活動を行う。</p> <p>また、アウトリーチ機能の強化、及び相談受付体制の充実のため市内9か所出張相談を実施する。</p> <p>○就労(中間的就労含む)へと踏み出すきっかけとなることを目的とする居場所「ゆ～らり」だけでは就労準備段階の方への支援は不十分であり、日常生活自立を目指す訓練の場が別途必要と感じる。</p> <p>一就労準備支援の強化のため、本会の支援のみならず他機関とも連携を図り、訓練の場の充実に向けた検討を行う。</p>	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	5																																																											
項目		H26	H27	H28	H29																																																																																															
受付相談件数		408	664	630	748																																																																																															
対 応 状 況	本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)	58	87	124	112																																																																																															
	他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)	181	332	241	240																																																																																															
	情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)	169	245	265	396																																																																																															
													達成度平均値	100%																																																																																						

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																																																																											
3 要支援者の 権利を擁護 するための 取組み	日常生活自立支援事業	56	社協	<p>契約によって日常的な金銭管理等の支援による、判断能力が十分でない方の生活をサポートする。</p> <p>①生活支援員スキルアップ研修★ ・実績・・・平成29年7月24日(月) 参加者:9人 平成29年10月10日(日) 参加者:6人 平成29年12月17日(日) 参加者:8人 平成30年2月26日(月) 参加者:7人</p> <p>②生活支援員連絡会★ ・実績・・・平成29年7月24日(月) 参加者:9人 平成29年10月10日(日) 参加者:6人 平成30年2月26日(月) 参加者:7人</p> <p>③周知活動 ・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・小規模多機能型ホーム・相談支援事業所・医療機関地域連携室・民児協会長へのパンフレット配布。 ・佐世保公共職業安定所研修会(H29.9)、日宇地区民児協(黒髪小校区)研修会(H29.10)、大塔住宅自治会サロン(H29.11)、清水地区サロン(H29.12)、光園地区自治会・福推協研修会(H30.1)、江迎地区民児協(H30.1)での事業説明</p> <p>《実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活支援員数(登録者)</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>103</td> <td>110</td> <td>132</td> <td>155</td> <td>185</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>新規</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>37</td> <td>47</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>84</td> <td>85</td> <td>95</td> <td>108</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>解約者数</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度解約理由・・・本人死亡(18人)、転出(4人)、成年後見制度への移行(6人)、親族による管理への移行(2人)、本人による管理への移行(3人) ※年間利用者の疾病分類・・・認知症(106人)、知的障害(31人)、精神障害(40人)、高次脳機能障害(6人)、複合障害(3人)、その他の障害(13人) ※権利擁護に係る相談対応件数・・・169件(うち、当事業による支援件数・・・39件) ※平成29年度に新たに生活支援員を調整した利用者数・・・23人</p>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	生活支援員数(登録者)	13	11	14	28	28	28	年間利用者数	103	110	132	155	185	199	内訳	新規	19	25	37	47	57	継続	84	85	95	108	128	解約者数	18	15	24	27	25	33	<p>支援員養成研修実施回数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>支援員新規養成者数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値(累計)</td> <td>10人(10人)</td> <td>10人(20人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>3人(3人)</td> <td>17人(20人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>30%</td> <td>100%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>支援員スキルアップ研修実施回数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>支援員連絡会実施回数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標値	1回	1回	-	-	-	実績値	0回	1回	-	-	-	達成度	0%	100%	-	-	-	目標値(累計)	10人(10人)	10人(20人)	-	-	-	実績値(累計)	3人(3人)	17人(20人)	-	-	-	達成度	30%	100%	-	-	-	目標値	2回	2回	3回	3回	3回	実績値	2回	4回	4回	4回	4回	達成度	100%	100%	100%	100%	100%	目標値	1回	2回	2回	2回	2回	実績値	1回	4回	4回	3回	3回	達成度	100%	100%	100%	100%	100%	<p>○スキルアップ研修は、生活支援員の経験年数に応じ実施した。 →2年目以降の生活支援員を対象とした研修では、生活支援員の意見を踏まえた内容を取り入れ、活動意欲を持つと同時に実務に繋がる研修となっている。 →生活支援員が意欲的に参加し、スキルアップが図られるよう計画的に実施する。</p> <p>○利用者本人が定期的に来所するケース等もあり、すべてを生活支援員が担当する訳ではないが、新規及び継続利用者に対して、できる限り生活支援員の調整を進め、支援体制の充実を図った。 →引き続き、利用者との生活支援員の調整を行い、利用者の増加に対応できる体制を整える。 →市民後見人養成講座や日常生活自立支援事業生活支援員養成講座の修了者に働きかけ、生活支援員を確保し、利用者の増加に対応する。</p>	<p>○今後の対策のとおり実施していただきたい。 また、この事業が何れを目的としているか明らかとなる目標を検討していただきたい。</p>	4
	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																																																																		
	生活支援員数(登録者)	13	11	14	28	28	28																																																																																																																		
年間利用者数	103	110	132	155	185	199																																																																																																																			
内訳	新規	19	25	37	47	57																																																																																																																			
	継続	84	85	95	108	128																																																																																																																			
解約者数	18	15	24	27	25	33																																																																																																																			
目標値	1回	1回	-	-	-																																																																																																																				
実績値	0回	1回	-	-	-																																																																																																																				
達成度	0%	100%	-	-	-																																																																																																																				
目標値(累計)	10人(10人)	10人(20人)	-	-	-																																																																																																																				
実績値(累計)	3人(3人)	17人(20人)	-	-	-																																																																																																																				
達成度	30%	100%	-	-	-																																																																																																																				
目標値	2回	2回	3回	3回	3回																																																																																																																				
実績値	2回	4回	4回	4回	4回																																																																																																																				
達成度	100%	100%	100%	100%	100%																																																																																																																				
目標値	1回	2回	2回	2回	2回																																																																																																																				
実績値	1回	4回	4回	3回	3回																																																																																																																				
達成度	100%	100%	100%	100%	100%																																																																																																																				
高齢者あんしんセンター事業	58	社協	<p>契約行為等が困難な方が日常生活支援から成年後見へ移行するまでの間、権利行使に係る空白が生じないようにカバーする。</p> <p>《利用実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>29</td> <td>17</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>新規</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>解約者数</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度で事業終了。成年後見制度への移行が完了していなかった5名について、完了するまでの支援を行った。尚、2名は、申立ての準備中に亡くなった。 ※H29年度解約理由・・・本人死亡(2人)、成年後見制度への移行(3人) ※年間利用者の疾病分類・・・認知症(3人)、精神障害(1人)、高次脳機能障害(1人)</p>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	年間利用者数	16	15	18	29	17	5	内訳	新規	6	5	5	15	0	継続	10	10	13	14	17	解約者数	6	2	4	12	12	5	<p>利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値(累計)</td> <td>2人(17人)</td> <td>2人(19人)</td> <td>2人(21人)</td> <td>2人(23人)</td> <td>2人(25人)</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>5人(18人)</td> <td>15人(29人)</td> <td>0人(29人)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	目標値(累計)	2人(17人)	2人(19人)	2人(21人)	2人(23人)	2人(25人)	実績値(累計)	5人(18人)	15人(29人)	0人(29人)	-	-	達成度	100%	100%	0%	-	-	<p>○平成28年度をもって本事業は終了。 ○平成28年度末までに、成年後見制度への移行が完了していなかった5件について、移行が完了するまでの間、施設利用料の支払い等の支援を行い終了した。</p>	<p>○事業廃止後の移行が無事完了しており評価できる。</p>	3																																																														
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																																																																			
年間利用者数	16	15	18	29	17	5																																																																																																																			
内訳	新規	6	5	5	15	0																																																																																																																			
	継続	10	10	13	14	17																																																																																																																			
解約者数	6	2	4	12	12	5																																																																																																																			
目標値(累計)	2人(17人)	2人(19人)	2人(21人)	2人(23人)	2人(25人)																																																																																																																				
実績値(累計)	5人(18人)	15人(29人)	0人(29人)	-	-																																																																																																																				
達成度	100%	100%	0%	-	-																																																																																																																				
成年後見制度の推進	59	社協	<p>社協が法人として本人の法律行為を行うと同時に、市民後見人を養成する。</p> <p>①法人後見新規受任件数 ・新規受任件数・・・6人★ ※平成30年3月末時点:14件(後見:8件、保佐:3件、補助:3件) ・運営委員会開催数・・・4回 ※成年後見制度に関する相談対応件数・・・25件</p> <p>②市民後見人新規養成者数 ・H29年度の開催なし ※平成25年度に実施済み(15名修了)</p> <p>③周知活動 ・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・小規模多機能型ホーム・相談支援事業所・医療機関地域連携室・民児協会長へのパンフレット配布。 ・佐世保公共職業安定所研修会(H29.9)、日宇地区民児協(黒髪小校区)研修会(H29.10)、大塔住宅自治会サロン(H29.11)、清水地区サロン(H29.12)、光園地区自治会・福推協研修会(H30.1)、江迎地区民児協(H30.1)での事業説明</p>	<p>法人後見新規受任件数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値(累計)</td> <td>10件(10件)</td> <td>15件(25件)</td> <td>15件(40件)</td> <td>15件(55件)</td> <td>15件(70件)</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>1件(1件)</td> <td>6件(7件)</td> <td>4件(11件)</td> <td>6件(17件)</td> <td>6件(17件)</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>10%</td> <td>40%</td> <td>27%</td> <td>40%</td> <td>40%</td> </tr> </table> <p>市民後見人新規養成者数</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値(累計)</td> <td>5人(5人)</td> <td>5人(10人)</td> <td>5人(15人)</td> <td>5人(20人)</td> <td>5人(25人)</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>0人(15人)</td> <td>0人(15人)</td> <td>0人(15人)</td> <td>0人(15人)</td> <td>0人(15人)</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	目標値(累計)	10件(10件)	15件(25件)	15件(40件)	15件(55件)	15件(70件)	実績値(累計)	1件(1件)	6件(7件)	4件(11件)	6件(17件)	6件(17件)	達成度	10%	40%	27%	40%	40%	目標値(累計)	5人(5人)	5人(10人)	5人(15人)	5人(20人)	5人(25人)	実績値(累計)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)	達成度	0%	0%	0%	0%	0%	<p>○新規受任件数は横ばいの状況。受任総数は増加しており、2名の後見支援員を雇用し、対象者増加に対応するための体制の整備を図った。 →今後も、必要に応じて、日常生活自立支援事業の生活支援員として経験を積んだ方を後見支援員として雇用し、体制の整備に努める。</p> <p>○市民後見人養成については、平成25年度に社協が実施し、15名が修了している。佐世保管内では、市民後見人が受任しているケースはなく、現時点で養成が必要な状況ではない。</p>	<p>○引き続き、支援体制の充実、および制度の周知について取り組んでいただきたい。</p>	3																																																																														
目標値(累計)	10件(10件)	15件(25件)	15件(40件)	15件(55件)	15件(70件)																																																																																																																				
実績値(累計)	1件(1件)	6件(7件)	4件(11件)	6件(17件)	6件(17件)																																																																																																																				
達成度	10%	40%	27%	40%	40%																																																																																																																				
目標値(累計)	5人(5人)	5人(10人)	5人(15人)	5人(20人)	5人(25人)																																																																																																																				
実績値(累計)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)	0人(15人)																																																																																																																				
達成度	0%	0%	0%	0%	0%																																																																																																																				

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容						実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点
					目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30			
4 包括的・継続的な生活支援	生活支援に係るケースマネジメント	61	社協	自立困難あるいは環境・精神が安定状態でない方を、多職種連携の中で地域生活に結び付けることによる、地域包括ケアシステムにおける生活支援の充実を図る。	●生活困窮者自立相談支援事業や日常生活自立支援事業で対応している。 ・生活困窮者自立支援事業：112件、日常生活自立支援事業：199件 ※内、重複4件 ・生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業ともに、行政や包括支援センター、医療機関などの関係機関からの相談は多く、事業の周知により対象者の把握や支援に繋がっている。 一関係機関からの相談：347件（H28年度：282件） ・地域包括支援センター、事業所などの他機関とのケースカンファレンスを行い、支援内容に反映させている。 一実績：1,130件（H28年度：784件） ・その他、実施内容は、生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業に記載のとおり。 ・法人後見を受任しているケースにおいても関係機関と連携した生活支援を行っている。	【参考】 生活困窮者自立支援事業（生困事業）、日常生活自立支援事業（日自事業）による対応件数	187件 ※生困事業 58件 ※日自事業 132件 (うち、重複 3件)	239件 ※生困事業 87件 ※日自事業 155件 (うち、重複 3件)	305件 ※生困事業 124件 ※日自事業 185件 (うち、重複 4件)	307件 ※生困事業 112件 ※日自事業 199件 (うち、重複 4件)	○生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業において、関係機関からの相談・情報提供や連携した支援を行っている。 ○関係機関からの相談は増加傾向。相談から支援に至るまで情報や意見を交換して支援に取り組んでいる。 一生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業等について、引き続き関係機関への周知を行う。 一支援を通じた関係づくりに努めて、対象者への適切な支援に繋げ、また、研修会や実践の積み重ねにより、職員のレベルアップを図る。	○同様の内容での継続が適当。	4
	民生委員・児童委員支援	65	社協	民生委員・児童委員の活動が円滑に行われるよう、要請に応じた支援を実施した。 ・民児協会会長会での制度及び社協事業の説明 ・民生委員・児童委員からの個別ケースに関する相談に対応（生活困窮者自立支援事業：37件、日常生活自立支援事業：3件） ・生活困窮者自立支援事業等における継続支援の中で、民生委員と連携して対象者の見守りや状況確認等を実施。 ●各種制度の周知が進み、本人が直接相談に来るケースも増えている。 ●困難ケース等に対応する際の支援は、地域包括支援センター等、他の相談窓口でも実施している。	【参考】 民生委員・児童委員からの相談件数 ※生困事業	38件	24件	29件	37件	○民生委員からの相談件数は若干増加した程度だが、情報提供や生活状況の確認等、個別のケースに応じて連携する機会が増えている。 一相談内容に応じて適切に連携を図るとともに、各種事業や制度の周知など、引き続き情報提供の充実にも努める。	○同様の内容での継続が適当。	3	
5 命を守る取組み	緊急時連絡カード配付事業	66	市	緊急時に適切な対応がなされるよう、緊急時連絡カードを配付する。	・必要に応じて、中央保健福祉センター1階受付、関係課窓口、本庁1階受付、各支所等へ補充 ・広報させばへの記事掲載(6月号) ・市ホームページ掲載記事の更新	【参考】 配布枚数 ・平成23年度・・・33,530枚 ・平成24年度・・・1,810枚 ・平成25年度・・・1,860枚	1,430枚	1,590枚	1,610枚	1,560枚	○継続した広報活動により市民へ定着してきている。 一引き続き、使用方法等について周知していく。	○同様の内容での継続が適当。	3
	救急医療情報キット実施事業	67	市	緊急時に駆け付けられた救急隊員が適切な対応ができるよう、救急医療情報キットを配付する。	・必要に応じて、中央保健福祉センター1階受付、関係課窓口、本庁1階受付、各支所、地域包括支援センター等へ補充 ・広報させばへの記事掲載(6月号) ・市ホームページ掲載記事の更新	【参考】 配布件数 ・平成25年度・・・9,960袋	1,309袋	1,480袋	1,740袋	1,795枚	○継続した広報活動により市民へ定着してきている。 一引き続き、使用方法等について周知していく。あわせて、平成30年度より、長寿社会課保健師が臨戸訪問する際に携帯し、必要な方々へ説明・配布を行うしていく。	○同様の内容での継続が適当。	3
※指標に関係がある取組みには★を付けています。											総合評価	<b>B</b>	平均値 3.36

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容					目標・指標					実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点																											
					目標値(累計)	H26	H27	H28	H29	H30	実績値(累計)	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値(累計)	実績値(累計)	達成度																														
1 住民相互間の自主的支援活動を通じた相互扶助の実現を支える仕組み	食事サービス支援	68	社協	<p>ボランティアによる食事の提供を行うことにより、独居高齢者等の孤独解消や安否確認を行う。</p> <p>①食事サービスグループへの助成(260円/1食) ・ボランティアグループに対する、財政的な支援を実施した。(10月、3月の2回)グループへの助成(260円/1食) 《活動実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼者数★(提供食数)</td> <td>15,360人</td> <td>14,524人</td> <td>14,582人</td> <td>14,541人</td> <td>14,826人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア数★</td> <td>879人</td> <td>862人</td> <td>888人</td> <td>848人</td> <td>817人</td> </tr> <tr> <td>グループ数★</td> <td>59グループ</td> <td>53グループ</td> <td>55グループ</td> <td>57グループ</td> <td>56グループ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・依頼者数(提供食数) 14,541人⇒14,826人 新規依頼者 1,164人、提供中止 902人 → 285人増加 ・グループ数(57グループ⇒56グループ) →新規2グループ、登録抹消3グループ 合計1グループ減少 抹消理由:高齢化による活動者の減少、新たな代表者のなり手がいないため。 ・登録ボランティア数(848人⇒817人) →新規登録者 63人、登録抹消 94人 合計31人の減少 抹消理由:グループの廃止、高齢により活動継続が困難なため。</p> <p>②食事サービスリーダー研修 ・開催日:平成29年7月31日(月) ・内容:後期高齢者医療制度についての講話 ・講師:市医療保険課職員 ・参加者数:41人(30グループ) ・その他:食事サービス活動に関する情報交換会、食中毒の注意喚起 社協事業(生活困窮者自立支援事業、レクリエーション集、サロン遊具貸出等)の紹介など ※食中毒の注意喚起として、調理場に掲示するチラシを配布</p> <p>③食事サービス料理教室 ・食事サービスグループを対象に、市内5ヶ所で実施(H29.1.30(火)～2.6(火)) ・参加者数…65人(28グループ) ・内容…調理実習、社協の事業説明(生活困窮者自立支援事業、ボランティアセンター)、 情報提供(食中毒予防、栄養バランスについて)</p> <p>④未実施地区での立ち上げの推進 ・地域福祉から版(よも一で)に食事サービスリーダー研修会の様子を掲載し広報を行った。 ・該当地区の民生委員等にチラシを配付し個別に説明をした。 →新規1グループが設立</p>	項目	H25	H26	H27	H28	H29	依頼者数★(提供食数)	15,360人	14,524人	14,582人	14,541人	14,826人	ボランティア数★	879人	862人	888人	848人	817人	グループ数★	59グループ	53グループ	55グループ	57グループ	56グループ	新規依頼者数	目標値(累計)	300人 (15,660人)	300人 (15,960人)	300人 (16,260人)	300人 (16,560人)	300人 (16,860人)	実績値(累計)	218人 (14,524人)	221人 (14,582人)	339人 (14,541人)	264人 (14,826人)	達成度	73%	74%	100%	88%	<p>○グループ廃止の主な要因である担い手不足の課題を抱えているグループが多い。 →食事サービスの活動を知ってもらうために、ボランティアと住民の交流するきっかけの一つとして、住民向けの料理教室を開催し、後継者の発掘及び育成につなげる。 →ボランティアセンターに登録している個人ボランティアに周知し、希望者を各グループにマッチングして人材確保につなげる。</p> <p>○ふれあいいきいきサロンと連携した、食事サービスグループが立ち上がった。 →食事を提供するプログラムが実施されるなど、それぞれの活動の活性化につながっている。 →地域の実情に合った形態での実施を支援する。</p> <p>○地域福祉から版に食事サービスリーダー研修会の様子を掲載し、広報を行った。また、福推協構成員向けのブロック別研修会にてチラシの配布を行った。 →今後も継続して広報紙等での周知を行い、新たなグループの立ち上がりにつなげる。</p>	<p>○ニーズのある事業であるため、ボランティアを養成して、現状を維持できるよう取り組んでいただきたい。</p>	3
					項目	H25	H26	H27	H28	H29																																						
					依頼者数★(提供食数)	15,360人	14,524人	14,582人	14,541人	14,826人																																						
					ボランティア数★	879人	862人	888人	848人	817人																																						
					グループ数★	59グループ	53グループ	55グループ	57グループ	56グループ																																						
					料理教室実施回数	目標値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	実績値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5ヶ所	1回/5ヶ所	達成度	100%	100%	100%	100%																											
					新規ボランティア数	目標値(累計)	10人 (889人)	10人 (899人)	10人 (909人)	10人 (919人)	10人 (929人)	実績値(累計)	69人 (862人)	105人 (888人)	86人 (848人)	63人 (817人)	達成度	100%	100%	100%	100%																											
					新規食事サービスグループ数	目標値(累計)	1グループ (60グループ)	1グループ (61グループ)	1グループ (62グループ)	1グループ (63グループ)	1グループ (64グループ)	実績値(累計)	0グループ (53グループ)	2グループ (55グループ)	4グループ (57グループ)	2グループ (56グループ)	達成度	0%	100%	100%	100%																											
						達成度	0%	100%	100%	100%																																						
						達成度	0%	100%	100%	100%																																						
													達成度平均値	97%																																		

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容							目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点														
					実施結果の分析と今後の対策																													
ふれあい支援ネットワーク(仮称)の推進	69	市社協		<p>近隣者の見守り・安否確認等による、平常時・災害時のネットワークづくりの強化・拡充を図る。</p> <p>①「ふれあいネットワーク」(災害時避難行動要支援者)の一元的数据管理に向けた調整 ・災害時避難行動要支援者支援システムの運用</p> <p>②地区福推協への活動費助成 ・各地区の福推協に対し、事務費や研修会等の経費、ネット数に応じた補助金を交付</p> <p>(ネット数実績)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>ネット数</td> <td>1,001</td> <td>1,018</td> <td>1,121</td> <td>1,070</td> <td>1,015</td> <td>979</td> </tr> <tr> <td>構成員数</td> <td>2,996</td> <td>3,200</td> <td>3,504</td> <td>3,449</td> <td>3,201</td> <td>3,106</td> </tr> </table> <p>※ネット数:見守り対象者人数、構成員数:見守り協力者の延べ数</p> <p>③地区情報交換会等の開催支援 ・地区福推協によるふれあいネットワーク情報交換会等開催…実績:9地区 ・内容:台帳登録用紙の作成方法や見守り活動のポイント、対応方法など意見交換を交えながら実施した。</p> <p>④ネットワークの活動の周知 ・民児協定例会・研修会、福推協総会、サロンにて事業内容の説明を行った。</p>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	ネット数	1,001	1,018	1,121	1,070	1,015	979	構成員数	2,996	3,200	3,504	3,449	3,201	3,106	ふれあい支援ネットワーク(仮称)の一元化・運用	制度設計確定 関係者合意	様式等発注・配付 情報収集 保有情報基盤整備	運用	運用	運用	<p>○災害時避難行動要支援者支援システムの運用 →ふれあいネットワーク登録者の災害時避難行動要支援者制度への移行を進める。 →日頃の見守り活動や災害時の支援には、地域住民や関係機関の連携が必要であり、情報を活用した取り組みについて検討が必要。 →ふれあいネットワークによる見守り活動について、あり方も含め検討する。</p>	○実効性のある「見守り」の仕組みとなるよう、一元化を進めていただきたい。	3
					項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29																							
ネット数	1,001	1,018	1,121	1,070	1,015	979																												
構成員数	2,996	3,200	3,504	3,449	3,201	3,106																												
実績	制度設計 システム導入 関係者合意	システム導入 運用開始	運用	運用																														
2 要支援者自らの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み	71	社協福推協	レクリエーション等を行うサロンの設置により、高齢者や障がい者、子育て中の親子等の孤立解消・心身機能維持向上を図る。	<p>①ふれあいいきいきサロン情報交換会(研修会)★ ・開催実績 平成29年7月3日(月) 江迎地区文化会館 参加者:32人 平成29年8月10日(木) 山澄地区公民館 参加者:64人 平成29年9月4日(日) 日守地区公民館 参加者:31人 ・内容:理学療法士による講話、グループワーク</p> <p>②ふれあいいきいきサロンの開設推進★ ・平成28年度117カ所→平成29年度163カ所 46カ所増加 (新規開設47カ所、サロン活動に移行2カ所、休止3カ所) ・地域包括支援センターとの連携によるサロン開設支援 →サロン体験会の実施(10地区)</p> <p>③ふれあいいきいきサロンへの支援 ・職員訪問回数…414回(レクリエーションの実施や情報提供など) ・活動定着を目指した財政的な支援(期間:2年間、金額:年間上限12,000円) →実績:652,000円(61カ所) ・平成27年度に作成した「サロンレクリエーション集」を随時配付 →簡単にできるサロンのメニューを掲載し提供 ・介護サービス事業所、警察署、消防署など外部講師の調整 ・希望するサロンに対し、本会所有のレクリエーション遊具の貸出 ・担当職員がレクリエーション研修に参加しスキルアップを図った。</p> <p>※サロン延べ実施回数 3,523回(平成28年度:2,377回) サロン延べ参加者数 58,665人(平成28年度:39,519人)</p> <p>④サロン対抗による交流大会の開催(本会60周年記念事業) ・開催実績… 平成29年10月2日(月) 北部地区予選 小佐々スポーツセンター 参加者:56人 平成29年10月6日(金) 中部地区予選 相浦総合グラウンド体育館 参加者:144人 平成29年10月13日(金) 東部地区予選 東部スポーツ広場 参加者:40人 平成29年11月2日(木) 決勝戦 相浦総合グラウンド体育館 参加者:96人</p>	新規サロン数	目標値(累計)	7カ所 (45カ所)	7カ所 (52カ所)	7カ所 (59カ所)	7カ所 (66カ所)	7カ所 (73カ所)	<p>○新たに47カ所のサロンが開設。特に、市が推進している「いきいき百歳体操」に取り組む団体が増加した。 →事業所(施設)や企業によるサロンプログラムへの支援が広がりをみせている。 →福推協、包括支援センター等との連携のもと、未開設の町内会への働きかけを行い、新規開設を進める。</p> <p>○自主的な運営を支援するため、プログラム作りの支援や外部講師のマッチングを行った。 →レクリエーション集(パートⅡ)を新たに作成し、配布する。また、サロンプログラムの協力が可能なボランティアや事業所等の情報を引き続き収集し、希望に応じた調整、支援を行う。</p> <p>○本会60周年記念事業として実施したサロン対抗交流大会が大変好評だった。 →サロン継続の励みにもなっており、さらなる活動普及のため、継続して実施する。</p>	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	4																				
						実績値(累計)	19カ所 (57カ所)	22カ所 (100カ所)	17カ所 (117カ所)	47カ所 (163カ所)																								
						達成度	100%	100%	100%	100%																								
						目標値	1回	1回	1回	1回	1回																							
地域共生サロン(地域の居場所)づくり	72	社協	<p>地域住民が気軽に集い交流できる拠点を開設し、効果的・現実的運営を推進する。</p> <p>●高齢者から子供まで様々な年代の住民が集まり、参加者同士の顔の見える関係づくりに取り組んだ(高齢者を対象としている既存のサロンに対象を広げて活動することをはたらかけた)。</p> <p>・実績:新規 5カ所開設(累計 10カ所) ①江迎地区 赤坂陽光クラブ(毎週1回実施) 場所:赤坂地区公民館 ②針尾地区 はりおはっぴーサロン(毎月1回実施) 場所:勝負越公民館 ③九十九地区 たわらんだサロン(毎月1回実施) 場所:俄ヶ浦公民館 ④清水地区 サロン万徳(毎月1回実施) 場所:万徳町公民館 ⑤早岐地区 地域交流拠点センターごちやまぜ 希望団体に場所を開放し、団体主催による活動が実施された。 100歳体操、認知症カフェ、自閉症保護者の交流など</p>	地域共生サロンの設置	制度設計(事業実施要綱等の作成)	モデル事業の実施(運営主体の募集)	実施	実施	実施	<p>○高齢者から子供まで様々な年代の住民が集まるきっかけとなり、世代間を越えた交流活動が浸透した。 →同方法による開設を引き続き推進する。なお、いきいきサロン事業との違いや位置づけなどについては、第3期計画の策定に合わせ整理を進める。</p> <p>○社会福祉法人が所有する施設のスペースが提供され、その活用による様々なサロンが実施された。 →取り組み内容を広報、周知するなどして、他法人での実施を推進する。</p>	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3																						
					制度設計完了	モデル事業の実施(運営主体の募集)	実施	実施																										
					目標値(累計)	-	2カ所 (2カ所)	3カ所 (5カ所)	5カ所 (10カ所)				5カ所 (15カ所)																					
					実績値(累計)	-	2カ所 (2カ所)	3カ所 (5カ所)	5カ所 (10カ所)																									
達成度	-	100%	100%	100%																														
<p>※指標に関係がある取組みには★を付けています。</p>																	総合評価	B	平均値 3.25															

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点
1、2 地区福祉推進協議会活動 支援事業		74	社協	<p>福祉協と民生委員を中心として、各地域の福祉課題を地域自らが解決に取り組む福祉活動の体制を確立する。</p> <p>地区ごとに策定した活動計画を福祉協が実践するに当たり、市や社協が支援を行う。</p>	<p>①福祉協組織の活性化に向けた取り組み                      ≪福祉協会長連絡会等≫★                      ・開催実績:3回                      ・開催日:平成29年5月24日(水)、平成29年11月8日(水)                      平成30年3月7日(水)                      ≪福祉協ブロック別研修会≫★                      福祉協構成員を対象に、地域の福祉課題の解決に向けた福祉協の役割について認識を深めるとともに、地域住民による支援活動のあり方について学んだ。                      ・開催実績:6会場 参加者合計:607人                      ・開催日、内容等                      ○平成30年1月18日(木)                      (労働福祉センター 参加者:136人、広田地区公民館 参加者:105人)                      テーマ:高齢者の生活を支えるための地域づくり                      講師:第1層コーディネーター 成富 努氏                      ○平成30年1月30日(火)                      (相浦公会堂 参加者:138人、吉井地区公民館 参加者:32人)                      テーマ:子供の貧困について考える                      講師:筑紫女学園大学 准教授 大西 良 氏                      ○平成30年2月1日(山湾地区公民館 参加者:82人)                      平成30年2月8日(清水地区公民館 参加者:114人)                      テーマ:認知症高齢者の社会問題                      講師:佐世保中央病院認知症患者医療センター センター長 井手 芳彦氏</p>	【参考】 福祉協会長連絡会の実施回数	1回	3回	2回	3回	<p>○地域の居場所として推進しているいきいきサロンについては、研修会等を通じての啓発や職員による開設の働きかけ、及び福祉関係機関等との連携により、各地区において開設が進んだ。                      →引き続き、各町内に広がるよう、福祉関係機関等とも連携を図り開設を推進する。                      ※H29実績(新規:47カ所、全体:163カ所)</p>	<p>○今後の対策のとおり実施していただきたい。</p>	3	
					<p>≪福祉協会長連絡会先進地視察研修会≫                      ・開催日:平成29年9月14日(木)～15日(金) 参加者:33人                      ・場所:下関市社会福祉協議会豊北地区社協、山口市社会福祉協議会                      ≪住民座談会≫                      福祉ニーズを把握するための取り組みとして6地区で開催                      開催地区:宮、早岐、潮見、清水、金比良、小佐々                      ≪ふくし教育学習会及び実践プログラムの開催≫                      開催地区:早岐、九十九、世知原、針尾、三川内、天神、福石、木風、戸尾、光園、春日、清水、金比良、黒島、中里皆瀬、吉井、江迎 以上18地区</p>	【参考】 先進地視察研修会の実施回数	1回	1回	—	1回	<p>○会長連絡会をはじめ、ブロック研修会など福祉協の活性化に関する事業を計画的に実施することができた。                      ブロック別研修会は、今回初めて3つのテーマを設定して開催。現在の時代背景に応じたテーマを取り入れることができ、より充実した内容となった。                      →今後も、内容の充実と併せて、より多くの構成員に参加してもらうよう開催時期等も考慮しながら進める。</p>			
					<p>②福祉協の運営及び活動費用の助成                      ・33地区の福祉協の活動支援の一環として助成                      ・社協会費還元金(地区の30%)、共同募金配分金(地区の5%)                      ・実績:5,020,800円                      (市補助金 2,413,000円、社協会費還元金 1,500,000円、共同募金配分金 1,107,100円)</p> <p>③地区担当職員による福祉協支援                      ・各地区担当職員が福祉協の定例会等に参加し、活動企画・提案、連絡調整、広報、情報提供、ニーズ把握等の活動を支援                      ・新規サロンの開設に向けたサロン体験会の実施など</p>	【参考】 ブロック別研修会への参加率 (参加者/総構成員)	618名 /1,287人 (48%)	596名 /1,287人 (46%)	617名 /1,287人 (48%)	607名 /1,287人 (47%)	<p>○地域課題の把握と支援に向けた基礎資料として、地域福祉カルテの更新を行うことで、地域支援につなげることができた。                      →今後も、定期的な更新を行い、地域支援に向けた取り組みとその進捗管理を行っていく。</p> <p>○住民座談会を6地区で開催し、地域課題の把握と解決策の検討を行った。                      →結果を踏まえながら、課題解決に向けてH30年度の地区福祉協活動に活かす。また、他地区においても、福祉ニーズの把握に向けた住民座談会等の開催を進める。</p> <p>○福祉協を中心に、地域を基盤としたふくし教育の取り組みを推進することができた。                      ふくし教育学習会及び実践プログラムを通じて、福祉協構成員の地域福祉への理解と意識向上につながっている。                      →平成30年度からは全地区で推進する。</p> <p>○各地区において福祉協をはじめとする地域の主要団体を「自治協議会」組織に再編・合流する取り組みが進められており、福祉協も自治協議会との再編・合流に向けた内部協議を進めてきた。                      →平成29年度に全ての地区で自治協議会が設立したことで、今後は各地区の意向をふまえながら福祉協・市・社協との調整を進め、方向性を示していく。</p>			

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点					
3 地域活性化モデル事業	82 社協		社協	<p>地域課題を抽出・解決するための実践組織「黒島ハッピー隊」の活動を支援する。</p> <p>「黒島ハッピーカフェ」の設置・運営を支援し、島民の福祉ニーズを把握する機会にする。</p> <p>「ソーシャルファーム」の構築により、耕作放棄地の整備、鳥獣被害の減少、高齢者の働く場所の確保に努める。</p> <p>島内で独自に介護予防活動を進め、島内で利用できる介護サービスの充実を図る。</p> <p>各種公開講座を開催し、島民の福祉課題の解決力を高める。</p> <p>以上のような、黒島地区をモデルにした住民主体の自立性の高い福祉活動環境作りを行う。</p>	<p>①「黒島ハッピー隊」の活動支援</p> <p>・訪問介護員養成研修修了者によって結成された「黒島ハッピー隊」の活動である「黒島ハッピーカフェ」(地域共生サロンの開催を支援した)。</p> <p>・開催日:平成29年5月21日(日) 参加者57人、平成29年8月13日(日) 参加者107人、平成29年9月3日(日) 参加者60人、平成29年12月3日(木) 参加者45人</p> <p>●「黒島ハッピー隊」研修会</p> <p>・鹿児島県さつま町及び霧島市への視察研修を行った。</p> <p>開催日:平成30年2月8日(木)～9日(金)</p> <p>内容:住民主体の助け合い活動について等</p> <p>参加者:8人(ハッピー隊3人、連携会議委員及びプロジェクト会議メンバー1人、本会職員4人)</p> <p>・平成29年11月7日(火) 公開講座に参加</p> <p>・平成30年3月17日(土)～18日(日) 在宅リハビリ推進員養成講座に参加</p> <p>●「黒島ハッピー隊」定例会</p> <p>・ハッピーカフェ他、各事業について打合せなど</p> <p>・開催実績:8回</p> <p>②黒島地区保健・医療・福祉連携会議の開催</p> <p>・島内で独自に介護予防活動を進めるため、保健・医療・福祉関係者によって構成する会議を開催</p> <p>・平成28年3月に策定した「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」の実践について協議</p> <p>・構成メンバー:医師、看護師、保健師、介護職員、民生委員、町内会長、ハッピー隊、支所職員</p> <p>・会議実績:第8回～平成29年9月15日 出席者:13人</p> <p>③くろしま健康づくりと介護予防推進プロジェクトの設置(会議実施)</p> <p>・「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」を推進するために島内の所要なメンバーによるプロジェクトチームを設置</p> <p>・会議実績:平成29年5月10日(水) 出席者:18人、平成29年7月14日(金) 出席者:14人、平成29年9月6日(水) 出席者:5人</p> <p>・役員関係者会議:平成29年9月6日(水) 出席者:5人</p> <p>・三世代交流グラウンドゴルフ大会の実施</p> <p>開催日:平成29年10月14日(土) 場所:吉井ソフトボール場 参加者:72人</p> <p>・地域通貨と相互扶助に関する調査の実施</p> <p>調査期間:平成29年8月15日(月)～31日(水) 標本数:65歳以上100名</p> <p>・ふくし教育学習会(社会的包摂を考える学習会～孤立を生まない地域づくり～)</p> <p>開催日:平成30年2月15日(木) 参加者:小・中学生及び保護者 38名</p> <p>④公開講座の実施</p> <p>●「虫歯予防教室」の実施</p> <p>・開催日:平成29年11月7日(火) 参加者:28人</p> <p>・講師:佐世保市役所健康づくり課 歯科衛生士 北野久枝氏</p> <p>●「介護予防教室」の実施</p> <p>・開催日:平成29年11月7日(火) 参加者:28人</p> <p>・講師:相浦地域包括支援センター 保健師 葛田由香里氏</p> <p>●在宅リハビリ推進員養成講座の実施</p> <p>・開催日:平成30年3月17日(土)～18日(日) 参加者:16人</p> <p>・講師:長崎リハ病院 医師 松坂誠徳氏</p> <p>・講師:PTJ川嶋克之氏(他、PTI人、OTI人)</p> <p>⑤NPO法人フリースペースふきのとうの活動支援(ソーシャルファーム)</p> <p>・ひきこもりの若者やその家族を支援するNPO法人ふきのとうの活動の一つである黒島地区の荒廃農地での農作物作り、その販売を支援</p> <p>活動実績:計6回 内容:玉葱、ハセリ、レタスの植え付けなど</p> <p>・戸尾商店街にオープンした「みんなのマルシェ 星の風」の活動支援</p> <p>・新たな取り組み(離島留学構想)についての打合せ</p>	黒島ハッピー隊 研修会実施回数	目標値	1回	1回	2回	2回	2回	2回	<p>○「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」に基づく各実践活動を、「くろしま健康づくりと介護予防推進プロジェクト」を中心に推進することができた。</p> <p>→連携会議において進捗状況の報告や評価を行い、引き続き、住民による主体的な実践活動につなげる。</p> <p>○地域福祉活動におけるパウチャー等の活用について、黒島地区住民の考え方を把握するため、住民100名を対象とした「地域通貨と相互扶助に関する調査」を実施した。</p> <p>→調査結果をふまえ、プロジェクト会議を中心に実施方法等について協議し、平成30年度はモデル町内(2か所)を指定し試験的に実施する。</p> <p>○平成28年度に実施した「在宅リハビリ推進員養成基礎講座」の受講者を対象に、「応用基礎講座」を実施した。</p> <p>→院内リハビリを終え在宅復帰した高齢者やサロン、デイサービス利用者等に対する実践活動について、連携会議等による助言や専門家によるフォローアップを受けながら推進する。</p> <p>○島内の荒廃農地を利用したソーシャルファームの活動が、島民とNPOとの協働で継続され、NPOが戸尾市場で運営する「みんなのマルシェ星の風」での販売が定着している。</p> <p>→その他の取り組みとして、島内の高齢者が畑の管理や指導をすることにより生きがいづくりにつながるよう、オーナー制度等について研究する。</p> <p>→島外の住民が現地を訪れて行う交流・体験活動の充実と図り、地域の活性化につなげる。</p>	<p>○今後の対策のとおり実施していただきたい。第3期計画策定に向け、本モデル事業の効果及び市内他の地域への展開等に関して検証に取り組むこと。</p>	4			
						黒島ハッピー隊 定例会実施回数	目標値	6回	6回	12回	12回	12回	12回				12回	12回	
						黒島ハッピーカフェ 開催支援回数	目標値	3回	3回	4回	4回	4回	4回				4回	4回	
						年次計画	①農作物の生産と加工の開始 ②販路の開拓	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売				①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売
						実績	①農作物の生産(収穫)実施 ②大型店舗等の販路の調整実施	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売				①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売	①農作物の生産と加工 ②販売
						年次計画	保健・医療・福祉連携会議の発定及び開催(3回/年)	連携会議の開催(2回/年)	連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)				連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)	連携会議の開催(4回/年)
						介護予防の取組み	実態調査の項目の検討	実態調査	調査結果に基づく取組内容の企画立案	実践活動開始	実践								
						実績値	3回 調査実施	2回 計画策定	4回 計画策定済	4回 実践活動開始									
						達成度	100%	100%	100%	100%									
						公開講座実施回数	目標値	2回	2回	3回	3回	4回							
						実績値	2回	2回	3回	3回									
						達成度	100%	100%	100%	100%									
※指標に関係がある取組みには★をつけています。																			
総合評価												A	平均値 3.50						



■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点	
1 施設基盤整備	地域福祉の一環としての福祉活動拠点施設の整備	85	市	福祉系団体の活動支援や、人材育成・福祉教育を推進するための福祉活動拠点の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の社会参加講座 開催回数… 6回 参加者数… 117人</li> <li>高齢者、障がい者疑似体験教室 開催回数… 19回 参加者数… 702人</li> <li>障がい者サポーター講習会 開催回数… 5回 参加者数… 49人</li> <li>認知症サポーター養成講座 開催回数… 90回 参加者数… 2,956人</li> <li>障がい者地区別研修会 開催場所… 山澄地区公民館 入場者数… 43人</li> <li>講演会および車椅子体験会 開催場所… 長崎国際大学 参加者数… 65人</li> <li>プラザだよりの発行 発行回数… 年6回</li> <li>プラザ入居団体PR用チラシの作成</li> </ul>	【参考】会議室等利用人数	8,281名	9,674名	9,591名	11,787名	10,000名	○福祉活動プラザの設置目的の大きな柱は「福祉系団体の活動支援」、「人材育成」、「市民の意識醸成」 ○開設後4年が経過して、講座等のノウハウも蓄積されてきた。会議室等の利用も年々増加してきており、福祉活動の拠点施設として認知されてきている。 →「福祉系団体の活動支援」については、チラシの配布による団体の活動周知に努めたものの、より効果的な実施手法について検討していく。	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3	
	地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	86	社協	地域福祉を総合的に推進するための、市民の誰もが利用しやすい地域福祉活動の拠点の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社協内部、及び市関係各課と今後の調整事項などについて確認をした。</li> </ul>	—	—	—	—	—	—	○具体的な進展はないが、引き続き、市関係各課をはじめ、関係機関との協議を随時行う。	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3	
2 情報基盤整備	社会資源情報の収集整備	87	社協	本市の保健・福祉の社会資源情報を一元的に集約し、インターネットで誰もが閲覧できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暮らしに役立つ「福祉情報ガイド」の運用</li> <li>・アクセス数 平成29年度:10,954件(平成28年度:13,441件)</li> <li>＜掲載内容＞</li> <li>①フォーマルサービス(189項目) 高齢者分野、障がい者(児)分野、子ども分野、経済的支援の相談窓口、介護保険制度、総合支援サービス、生活保護、貸付制度等の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年9月に修正、更新</li> </ul> </li> <li>②インフォーマルサービス(147団体) NPO、市民活動団体等の情報(団体の種類、団体名、活動目的、活動内容等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年6月に修正、更新</li> </ul> </li> <li>○新規情報の掲載</li> <li>・インフォーマル 21団体</li> <li>○広報周知</li> <li>・地域福祉かわら版よも一で14号(9月発行)に掲載</li> <li>・PR用チラシの配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次計画</li> <li>インターネットを活用した情報提供</li> <li>実績値</li> </ul>	社会福祉協議会のホームページに掲載	情報の更新	情報の更新	情報の更新	情報の更新	情報の更新	○関係団体や地域の会合にてチラシを配布したが、閲覧数の増加にはつながらなかった。 →専門職や関係機関への周知を強化するとともに、新たな媒体を活用した広報について検討する。また、検索のしやすさ等について対応可能な範囲での改善を検討する。  ○インフォーマルグループの新規掲載が進んだ。ボランティアセンターの登録グループ、及び県民協働支援センターの情報をもとに情報掲載をはたらきかけた。 →引き続き実施し、内容の充実につなげる。	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3
	災害時要援護者・平常時要支援者の一元的データ管理	88	市	平常時の見守りや災害時の避難支援が円滑に進められるように、要支援者情報のデータベース化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ふれあいネットワーク」「災害時避難行動要支援者」の一元的データ管理に向けた調整</li> <li>・災害時避難行動要支援者支援システムの運用</li> </ul>	システム導入	制度設計	制度設計	システム導入	運用	運用	運用	○災害時避難行動要支援者支援システムの運用 →ふれあいネットワーク登録者の災害時避難行動要支援者制度への移行を進める。	○「災害時避難行動要支援者支援計画」事業の推進に向け、システムの運用管理に努めていただきたい。	3
	計画推進の成果の評価等	89	市社協	実質的成果の測定方法の開発、測定結果による課題抽出・再検討、次期計画の構成や活動内容に活かしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長崎国際大学に業務委託契約を締結し以下のとおり実施</li> <li>①地域福祉の推進に関する調査の調査項目及び調査票の作成 平成28年度に作成した調査票を再度精査し、質問項目を整理して「佐世保市の地域福祉の推進に係る調査」用紙を作成した。また、標本数の設定、地区別の配賦数等について協議し、調査要領を作成した。</li> <li>②地域福祉の推進に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査期間:平成29年10月6日(金)～11月8日(水)</li> <li>・調査対象者:佐世保市内在住の満18歳以上の市民3,300人</li> <li>※住民基本台帳からの地区別(27地区)の比例配分による無作為抽出。最低標本数を80に調整</li> <li>・調査方法:調査票記入式のアンケート調査(郵送配付、郵送回収による。)</li> <li>・回収等:1,287件(回収率 39.0%)</li> </ul> </li> <li>③地域福祉の推進に関する調査の集計及び分析 回収した調査用紙を集計・分析し、「佐世保市の地域福祉の推進に関する調査報告書」を作成</li> </ul>	評価手法の検討と評価	年次計画	—	成果評価策定業務委託書作成	成果評価策定業務委託、成果測定	二ーズ抽出、二ーズ充足手法検討	次期計画策定	○「佐世保市の地域福祉の推進に関する調査」を実施し、平成28年度に策定した地域福祉の推進に関する指標で現すことができた。 →集計結果をふまえ、第3期計画の策定に係る課題整理や施策の立案につなげる。  ○調査結果を基に指標の有効性や調査方法などについて検証し、より精度の高い成果測定の方法や地域福祉との関係性について引き続き研究する。	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3



■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容					実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点																																																																																																												
					目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	目標・指標	H26	H27	H28			H29	H30																																																																																																										
3 人材基盤整備	福祉人材バンク	93	社協	<p>合同面談会 や福祉職場 への就職セ ミナーの開 催により、福 祉・介護 サービス分 野における 人材を安定 的に確保す る。</p> <p>①福祉人材センター運営事業(福祉人材バンク)                      ≪福祉人材無料職業紹介≫                      ・求職者に対する就職あっせん及び相談、ニーズの把握</p> <p>※実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>求人件数</td> <td>379件</td> <td>380件</td> <td>387件</td> <td>344件</td> </tr> <tr> <td>求職者数</td> <td>266件</td> <td>215人</td> <td>207人</td> <td>199人</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td>99人</td> <td>121人</td> <td>108人</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table> <p>≪福祉・介護の職場への就職セミナー≫★                      ・開催日:平成29年6月18日(日) 場所:労働福祉センター 参加者:21人</p> <p>≪福祉・介護の職場ミニ面談会≫★                      ・開催日:平成29年7月12日(水) 場所:早岐地区公民館 参加者14人                      ・開催日:平成29年7月26日(水) 場所:ソレイユ吉井 参加者8人                      ・開催日:平成29年11月8日(水) 場所:江迎ハローワーク 参加者11人                      ・開催日:平成30年2月19日(月) 場所:労働福祉センター 参加者29人</p> <p>≪福祉・介護の就職合同面談会≫★                      ・開催日:平成29年9月24日(日) 場所:JAささぼホール 参加者:43人                      参加事業所数:24カ所                      ※フレッシュワーク佐世保の協力を得て、主に若い年代を対象とした「面接を成功させるポイント」に関する講座を実施した。                      ・開催日:平成29年12月9日(土) 場所:労働福祉センター 参加者:24人                      参加事業所数:22カ所                      ・高校等訪問活動                      学校、ハローワーク等関係機関、県北地域の施設等訪問件数:869件                      (内、江迎ハローワーク出張相談 23回)                      ※上記の取り組みをはじめ、タウン誌等を活用しての広報・啓発やハローワークをはじめとする関係機関と連携しての、面談会・セミナーを実施</p>	項目	H26	H27	H28	H29	求人件数	379件	380件	387件	344件	求職者数	266件	215人	207人	199人	就職者数	99人	121人	108人	101人	<p>新規就職者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95人(95人)</td> <td>95人(95人)</td> <td>98人(193人)</td> <td>100人(293人)</td> <td>100人(393人)</td> <td>100人(493人)</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>99人(99人)</td> <td>121人(220人)</td> <td>108人(328人)</td> <td>101人(429人)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>就職セミナー実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ミニ面談会実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>合同面談会実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値(累計)	H26	H27	H28	H29	H30	95人(95人)	95人(95人)	98人(193人)	100人(293人)	100人(393人)	100人(493人)	実績値(累計)	99人(99人)	121人(220人)	108人(328人)	101人(429人)		達成度	100%	100%	100%	100%		目標値	H26	H27	H28	H29	H30	1回	1回	1回	1回	1回	1回	実績値	2回	1回	1回	1回		達成度	100%	100%	100%	100%		目標値	H26	H27	H28	H29	H30	2回	2回	2回	2回	2回	2回	実績値	2回	2回	3回	4回		達成度	100%	100%	100%	100%		目標値	H26	H27	H28	H29	H30	1回	1回	1回	1回	1回	1回	実績値	1回	1回	1回	2回		達成度	100%	100%	100%	100%		<p>○学校や福祉施設、事業所等への訪問回数を増やすとともに、面談会の開催を増やしたが、参加数、就職者数の増加にはつながらなかった。                      一求職者のニーズに合わせた(例えば、介護補助、清掃、運転手等)求人の開拓にも力を入れる。</p> <p>○介護人材の確保をはじめ、若い人の福祉職離れは全国的な課題となっている。                      一若者の登録者増を図るため、求職サイト等を活用し、人材バンクのPRを行う。</p> <p>○登録者及び就職者数の増につながる取り組みを実施する。                      一転職希望者等を対象とした合同面談会(夜間帯)を新たに開催する。                      一就職後の訪問や電話での状況確認等のフォローアップを積極的にに行い、早期離職者の防止にも努める。</p>	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	3
				項目	H26	H27	H28	H29																																																																																																																				
				求人件数	379件	380件	387件	344件																																																																																																																				
				求職者数	266件	215人	207人	199人																																																																																																																				
就職者数	99人	121人	108人	101人																																																																																																																								
目標値(累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																							
95人(95人)	95人(95人)	98人(193人)	100人(293人)	100人(393人)	100人(493人)																																																																																																																							
実績値(累計)	99人(99人)	121人(220人)	108人(328人)	101人(429人)																																																																																																																								
達成度	100%	100%	100%	100%																																																																																																																								
目標値	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																							
1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																							
実績値	2回	1回	1回	1回																																																																																																																								
達成度	100%	100%	100%	100%																																																																																																																								
目標値	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																							
2回	2回	2回	2回	2回	2回																																																																																																																							
実績値	2回	2回	3回	4回																																																																																																																								
達成度	100%	100%	100%	100%																																																																																																																								
目標値	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																							
1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																							
実績値	1回	1回	1回	2回																																																																																																																								
達成度	100%	100%	100%	100%																																																																																																																								
					達成度平均値					100%																																																																																																																		
4 災害時における取組み	災害時避難行動要支援者避難支援計画	95	市	<p>災害時の要支援者の避難に関する個人ごとの支援計画の作成や、平常時の見守りの推進を行い、災害時における対応が万全となるよう体制を整備する。</p> <p>●避難行動要支援者名簿対象者への同意書送付一返信一名簿作成                      ●名簿の民生委員への説明と配布                      ●名簿の説明と受領要請(町内会)                      ●警察・消防への名簿提供</p>	<p>【参考】 登録者数(H30.4月末現在)</p>	2,678名	2,618名	12,180名	12,530名		<p>○効果的な見守り活動が実施されるよう、同意を得られた災害時避難行動要支援者の情報を担当地区の民生委員・児童委員に提供した。                      ○民生委員、警察、消防への名簿提供については100%達成                      ○各町内会へは、各地区ごとに名簿受領への説明と受領を要請。(受領数約24%)                      一日頃の見守り活動や災害時の支援には、地域住民や関係機関の連携が必要であり、情報を活用した取り組みについて検討が必要。                      一平成30年度は、地区自治協議会の会合開催時をとらえ、現名簿の更新分の差し替えと受領要請・説明を行い、受領数を増やす。(目標10%増)                      ○同意者数を増やす取組みを行った。(返送率平成30年4月末約50%)                      一民生委員の活動時の声掛け、町内会への声掛け要請等を行う。</p>	○災害時避難行動要支援者に対する「見守り」が実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し事業を推進していただきたい。	3																																																																																																															
				福祉避難所を必要数確保し、その所在や避難方法について周知を行う。	<p>【参考】 登録施設数</p>	42施設	42施設	42施設	42施設		<p>○各地区の防災訓練に参加し、福祉避難所開設訓練を実施。発災時における担当および保健師の手順確認と認識の一元化ができた。また、訓練参加者へ福祉避難所の周知ができた。                      一福祉避難所の所在や避難方法の周知については、各地区の防災訓練に引き続き参加することで、地区住民に広めていく。</p>	○対象者に対する周知方法を検討していただきたい。また、避難所での対象者への配慮をどうしていくか検討していただきたい。	3																																																																																																															
	福祉避難所	95	市	<p>●西地区防災訓練                      ・開催日:平成29年6月11日(日)                      ・場所:西地区自治協議会管内地域一帯(主会場:西地区公民館)                      ・主催:西地区自治協議会、佐世保市                      ・内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施</p> <p>●南地区防災訓練                      ・開催日:平成29年9月24日(日)                      ・場所:南地区自治協議会管内地域一帯(主会場:南地区公民館)                      ・主催:南地区自治協議会、佐世保市                      ・内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施</p> <p>●江上地区防災訓練                      ・開催日:平成29年10月29日(日)                      ・場所:江上地区自治協議会管内地域一帯(主会場:旧ボリテクセンター体育館)                      ・主催:江上地区自治協議会、佐世保市                      ・内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施</p> <p>●日宇地区防災訓練                      ・開催日:平成29年11月26日(日)                      ・場所:日宇地区自治協議会管内地域一帯(主会場:黒髪小学校)                      ・主催:日宇地区自治協議会、佐世保市                      ・内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施</p>	<p>【参考】 受入可能人数</p>	319人	319人	319人	319人																																																																																																																			

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の実施内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点				
4 災害時における取組み	災害ボランティアセンター	96	社協	災害時の円滑な支援活動のため、平常時から各種関係団体の連携体制を構築する。	<p>●災害ボランティアセンター設置運営訓練及び研修会の実施</p> <p>①佐世保市総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成29年10月7日(土)</li> <li>開催場所：陸上自衛隊相浦駐屯地</li> <li>参加者：43名</li> </ul> <p>(災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員5名、登録ボランティア31名、社協7名)</p> <p>●内容：災害ボランティアセンターの開設、ボランティアの受付・マッチング・送り出し等の実践演習</p> <p>※今年度は、災害ボランティア実践講座受講者並びに登録ボランティアにも参加を呼びかけ訓練を実施した。</p> <p>②災害ボランティア講演会〔市民向け〕 ※災害ボランティア実践講座として開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成29年9月2日(土)～3日(日)</li> <li>開催場所：佐世保市労働福祉センター 2階大会議室A・B</li> <li>参加者：148名(2日：76名、3日：72名)</li> <li>テーマ：『地域を守る住民の“ちから”を集結せよ！』～住民の支え合いの重要性を学ぶ、災害時に何が出来るか考える、災害時の決断力を高める～</li> <li>講師：鳥取県日野ボランティア・ネットワーク コーディネーター 山下 弘彦 氏 日本防災士会長崎県支部長 旭 芳郎 氏</li> <li>(2日)講義：「災害が起きたら」 演習：「地域を守る住民の力を集結せよ！」</li> <li>(3日)講義：「災害時どのような活動が自分たちには出来るか」</li> <li>演習：「避難所運営訓練(HUG)訓練」</li> </ul> <p>※2日間を通して「災害ボランティア実践講座」を受講した47名の方には、「受講証」を発行している。</p> <p>※ボランティア実践講座と一体的に実施した。</p> <p>●その他</p> <p>①長崎県災害ボランティア連絡会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡協議会が校正団体として参画し、情報の取得や県レベルでの団体とのつながりをつくる。また、連絡協議会代表が会議に出席し、情報共有及び参加団体との繋がりを構築している。</li> </ul> <p>②被災地支援</p> <p>九州北部豪雨災害における、災害ボランティアセンターの後方支援として職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先：福岡県東峰村災害ボランティアセンター</li> <li>期日：〔第2クール〕平成29年7月25日(火)～29日(土) 人数：1人</li> <li>〔第3クール〕平成29年7月29日(土)～8月2日(水) 人数：1人</li> </ul>	<p>目標値</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p>	<p>実績値</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p>	<p>達成度</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>目標値</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p>	<p>実績値</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>1回</p>	<p>達成度</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>○設置運営訓練は災害ボランティア実践講座の参加者にも呼びかけ、適正に実施することができた。</p> <p>一設置運営訓練は継続して実施するとともに、災害ボランティアの意識啓発をより推進するため、参加を呼びかける対象を一般市民にまで広げる。</p> <p>○災害ボランティア実践講座は、県社協との共催で2日間実施。2日間受講した参加者には、「受講証」を発行した。</p> <p>一災害時に協力するボランティアの養成と災害に対する意識啓発を進めることができた。今後も、訓練や研修会等への依頼を継続して行い、意識の向上を図る。</p>	<p>○今後の対策のとおり実施していただきたい。また、災害発生時のセンター設置等の具体的な動きについて、官民連携し円滑な活動が行えるよう努めていただきたい。</p>	3				
					目標値	3回	3回	3回	3回	3回						○連絡会議の実施を通して、顔の見える関係づくりが進んだ。また、災害ボランティア実践講座や訓練などの関連事業も実施においても連携して取り組むことができた。	○今後の対策のとおり実施していただきたい。	
					実績値	2回	3回	2回	3回							○視察研修では、災害ボランティアセンターの運営方法や被災地の現状について具体的に学ぶことができた。また、その内容について協議会構成メンバーと共有することができた。		
					達成度	67%	100%	67%	100%							一今後の訓練では、実際の災害ボランティアセンター運営を想定した、より実践的な内容で実施することを検討する。		
												達成度平均値	100%					

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容	目標・指標					実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点	
					H26	H27	H28	H29	H30				
出前講座	101	市社協	<p>地域団体、学校等に対する地域福祉の普及啓発を行い、主体的な福祉活動への参加を促進する。</p>	<p>●佐世保市まちづくり出前講座 ・実績なし</p> <p>●社協による講座の実施(福推協との共催含む) ・実施回数:5回</p> <p>※ボランティア入門講座(2回・58人)、話し相手ボランティア養成講座(1回・26人)、地域福祉研修会(金比良・清水地区 各地区1回・計44人)の中で、以下の内容についての講話を行った。                      &lt;内容&gt; ・地域福祉の考え方、必要性について                      ・福祉を取り巻く動向、統計について                      ・地域の実践活動(サロン、食事サービス、ネットワークなど)の紹介                      ・社会福祉協議会の事業紹介 など</p>	講座実施回数	目標値	3回	4回	5回	5回	5回	<p>○まちづくり出前講座以外の機会を活用した、地域福祉に関する意識啓発ができています。 →引き続き、同様の方法で実施する。</p>	3
					講座受講者数	実績値	45人	60人	75人	75人	75人		
地域福祉講演会	101	社協	<p>地域福祉分の中の重要テーマについて講演会を実施し、地域福祉への理解と関心を高める。</p>	<p>①地域福祉講演会(市全域対象) ・開催日:平成29年2月2日(木) ・会場:佐世保市コミュニティセンター 5Fホール ・テーマ:『住み慣れた地域でいつまでも暮らすために私たちにできること』 ・講師:福祉ジャーナリスト 町永 俊男 氏 ・参加者:232人</p> <p>②地域福祉講演会(地区単位) 《江迎地区》 ・開催日:平成29年11月22日(水) ・会場:江迎地区公民館 ・テーマ:『認知症と共に生きる地域づくり』 ・講師:エフォートケアシステム 成富 努 氏 ・参加者:46人</p> <p>《江上地区》 ・開催日:平成30年3月6日(火) ・会場:江上地区公民館 ・テーマ:『地域のつながりをつくるために〜災害時に困らない関係づくり〜』 ・講師:佐世保市防災危機管理課長補佐 中村 幸孝 氏 ・参加者:48名</p>	講演会の実施回数	目標値	(全域)1回 (地区)1カ所	(全域)1回 (地区)1カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	<p>○昨年度の講演会で実施したアンケートをもとに住民が関心のあるテーマを選定し開催することができた。 →アンケート結果も参考にしつつ、時代にあったテーマを選定し地域福祉に対する意識啓発を図る。</p> <p>○若い世代への参加を呼びかけたが、参加にはつながらなかった。 →対象(テーマ)に合わせた開催日時を検討し、参加しやすい時期や時間帯に開催する。</p> <p>○地区単位の開催は、住民と協議のもと内容を検討し、開催することができた。 →今後も各地区福推協と連携し、地区に応じた内容を実施する。</p>	3
					実績値	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所			
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%			
5 福祉教育	階層別福祉教育	102	<p>人間の価値や尊厳を見出す福祉教育プログラムを開発し、それに基づいた階層別福祉教育を実施する。</p>	<p>①ふくし教育実践体制の整備 モデル3地区及び新規15地区の福祉推進協議会において、ふくし教育の理解と実践プログラムの企画を行い、推進体制を整備した。 ・福祉推進協議会構成員に対する事業の理解促進のための会議の開催(18地区) 早岐地区:3回、九十九地区:2回、世知原地区:4回 三川内地区:2回、針尾地区:2回、天神地区:3回、福石地区:2回、木風地区:4回 戸尾地区:6回、光園地区:6回、清水地区:1回、金比良地区:2回、春日地区:2回 大野地区:3回、中里皆瀬地区:4回、黒島地区:5回、吉井地区:4回、江迎地区:3回</p> <p>・社会的包摂を考える学習会の実施(18地区) 早岐(平成30年3月4日・23人)、九十九(平成30年3月7日・45人)、 世知原(平成30年2月18日・33人)、針尾(平成29年9月12日・22人)、 三川内(平成29年10月19日・21人)、天神・福石・木風(平成29年9月29日・60人) 戸尾・光園(平成29年10月26日・50人)、春日・金比良・清水(平成29年9月26日・55人) 黒島(平成29年9月15日・12人)、大野・中里皆瀬(平成29年8月26日・63人) 吉井・江迎(平成29年8月31日・31名)</p> <p>・ふくし教育実践指針に基づくプログラムの実施(18地区) 早岐:歴史を知る講座(27人)、九十九:福祉活動の視察(16人)、世知原:地域福祉講演会(33人) 三川内:認知症講座(24人)、針尾:サロン活動の視察(18人)、天神:歴史を知る講座(29人) 福石:地域包括ケア講座(25人)、木風:地域包括ケア講座(61人)、戸尾:視覚障がい講座(11人) 光園:権利擁護講座(35人)、清水:地域福祉研修会(21人)、金比良:地域福祉研修会(23人) 春日:サロン活動の視察(25人)、大野:サロンを学ぶ講座(40人) 中里皆瀬:ネットワーク理解講座(35人)、黒島:島のあゆみを学ぶ講座(41人) 吉井:介護予防講座(9人)、江迎:ネットワーク理解講座(9人)</p> <p>②ふくし教育推進委員会の設置・開催 本市において佐世保市ふくし教育実践指針に基づく地域を基盤としたふくし教育を推進することに伴い、進捗状況や内部評価に対する助言を行うことを目的として16団体が構成するふくし教育推進委員会を開催した。 ・第1回会議:平成29年6月23日 内容:平成28年度事業報告・平成29年度事業計画の協議 ・第2回会議:平成30年3月12日 内容:平成29年度事業経過報告</p> <p>③ふくし教育学習会 ふくし教育の意義や必要性について関係機関が相互理解を深めることを目的としてふくし教育学習会を開催した。 ・日時:平成30年3月12日(月) ・場所:佐世保市労働福祉センター大会議室 ・参加者:199人(福推協・学校・福祉施設・ボランティア団体等) ・講師:日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田正樹氏</p> <p>④学校等関係団体におけるふくし教育への支援 市内小中学校等からの相談に応じ、プログラムの提案や講師の紹介等の支援を行い、児童・生徒の「共に生きる力」を育むふくし教育を推進した。 ・支援箇所 12校 ・内容・・・福祉講話、バリアフリー調査、ユニバーサルデザイン体験、盲導犬交流など</p>	年次計画	福祉教育プログラム開発検討委員会の設置及び定期開催	階層別福祉教育プログラムの策定	プログラムの試行的実施及び検証	福祉教育プログラムマニュアル作成、本格実施、全小中学校及び各種団体へ配付	実施状況等 追跡調査の実施	<p>○福推協をふくし教育を推進する組織として位置づけ、その体制づくりを目的とした学習会とプログラムを新たに15地区で実施した。 →プログラムを通してふくし教育の必要性は理解されつつあるが、構成員が主体的に動いていくためには一定の期間がかかる。今後は福推協においてプログラムの定着化と成果の共有を図っていく必要がある。 →同様の方法で継続するとともに、平成30年度は新たに15地区での実践を推進する。</p> <p>○平成28年度からのモデル地区(3地区)では、地域住民を対象としたふくし教育プログラムが実施された。 →ふくし教育の視点を再確認し地区の課題に応じたプログラムを考案し継続する。また、企画、実施、ふりかえりという一連の過程を大切に地区に必要な人材を育成につなげる。</p>	4	
					実績値	策定委員会の設置・開催	策定委員会の開催	推進委員会の設置・開催	福祉教育プログラムマニュアル作成、本格実施	<p>○学校におけるふくし教育は、授業時間を一定時間確保する学校が増え、内容も従来の体験学習に限らず、当事者との交流や福祉のまちづくりに関する等、ふくし教育に必要な視点を取り入れたものができている。 →児童・生徒の反応や変化について、先生を対象としたアンケート調査やふり返し等を行い、さらに内容の充実につなげる。</p> <p>○ふくし教育実践で得た成果の評価方法は、ふくし教育推進委員会において引き続き検討が必要 →プログラム実践において地区の姿容を図る評価は先進地においても行われていない。従ってプログラム一つひとつを細かく評価することが必要であり、その方法を研究する。</p>			

■第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成29年度取組み評価一覧表

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成29年度の主な活動内容					目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点
5 福祉教育	地域における人材育成	103	社協	<p>各地域で研修会等を開催し、地域福祉を推進するための人材を育成する。</p> <p>地域福祉を推進するための人材育成に関する取り組みを以下の事業の中で実施した。</p> <p>①生活支援体制整備事業</p> <p>○中里皆瀬地区において、地域ニーズの把握及び人材発掘を目的とし、ワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野中町 実施日：平成30年3月9日（金） 参加者：40名程度</li> <li>・上本山町3組 実施日：平成30年3月13日（火）～ 参加者：15名程度</li> <li>・吉岡町第2 実施日：平成30年3月20日（火）～ 参加者：15名程度</li> </ul> <p>○中里下公民館内で、平成28年度に養成したボランティアによる生活支援サービス（ごみ出し、買い物）の活動が始まった。</p> <p>②ふくし教育推進モデル事業（2年目）</p> <p>○モデル地区（早岐、九十九、世知原）の福推協と連携し、住民を対象としたふくし教育を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的包摂を考える学習会の開催 社協職員が寸劇を行い、参加者には排除する人とされる人、またその中間に立つ人の気持ちについて考え、話し合いを行った。 早岐：23名（平成30年3月4日）、九十九：45名（平成30年3月7日）、世知原：33名（平成30年2月18日）</li> </ul> <p>・ふくし教育実践指針に基づく地区独自のプログラムの実施 3地区の福祉推進協議会で企画されたプログラムを実施した。 早岐：27名（平成29年8月6日）、九十九：16名（平成29年11月27日）、世知原：33名（平成30年2月18日）</p>	<p>【参考】 関連事業における人材育成の推進</p>	—	—						<p>生活支援体制整備事業、ふくし教育推進事業における人材育成の推進</p> <p>生活支援体制整備事業、ふくし教育推進事業における人材育成の推進</p>	<p>○地域で養成したボランティアによる支え合い活動を始めることができた。 →ごみ出しや買い物などの生活支援が少しずつ広がっている。また、ボランティアによる定例会が実施されるなど、主体的な活動として定着している。 →ワークショップを実施した町内においても、把握したニーズをもとに、人材発掘や支え合い活動の推進を図る。</p> <p>○ふくし教育モデル地区の町内会を対象に、地域住民を対象とした学習会を実施 →ごみ屋敷の事例をもとに、地域における排除の構造や当事者の気持ちについて理解を深めることができた。 →「社会的包摂」の考え方を地域住民にも浸透させるため町内会等を単位とした学習会を実施する。</p>	<p>○今後の対策のとおり実施していただきたい。</p>	4		
																	<p>※指標に関係がある取組みには★を付けています。</p>	
総合評価																B	平均値 3.13	

平成29年度 第2期地域福祉計画・地域福祉活動取組み評価点一覧

項目・計画事業	実施主体	評価点					
		H26	H27	H28	H29	前年比	
個別支援	1. 孤独から要支援者を守る取り組み						
	話し相手ボランティア事業	社協	3	3	3	3	→
	2. 要支援者を資金的に支援するための取り組み						
	佐世保市福祉資金貸付事業	社協	3	3	3	3	→
	長崎県生活福祉資金貸付事業	県社協	3	3	3	3	→
	生活困窮者自立支援事業	市	5	5	5	5	→
	3. 要支援者の権利を擁護するための取り組み						
	日常生活自立支援事業	県社協	2	3	4	4	→
	高齢者あんしんセンター事業	市	3	3	3	3	→
	成年後見制度の推進	社協	2	3	3	3	→
	4. 包括的・継続的な生活支援						
	生活支援に係るケースマネジメント	社協	4	4	4	4	→
	民生委員・児童委員支援	社協	3	3	3	3	→
	5. 命を守る取り組み						
	緊急時連絡カード配布事業	市	3	3	3	3	→
救急医療情報キット事業	市	3	3	3	3	→	
総合評価			B	B	B	B	→
小地域支援	1. 住民相互間の自主的支援活動を通じた相互扶助の実現を支える取り組み						
	食事サービス支援	社協	2	3	3	3	→
	2. 要支援者自らの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取り組み						
	ふれあい援護ネットワーク(仮称)の推進	社協	2	3	3	3	→
	ふれあいいきいきサロンの支援・推進	社協	4	4	4	4	→
地域共生サロン(地域の居場所)づくり	社協	3	3	3	3	→	
総合評価			C	B	B	B	→
地域福祉活動	1. 実践体制						
	福推協の位置付けの再整理及び活動支援	社協	2	2	2	3	↑
	福祉推進協議会の役割						
	2. 福祉推進協議会が推進する福祉施策						
	福祉推進協議会の福祉的活動例	社協	4	4	4	4	→
地区福祉活動計画							
3. 地域活性化モデル事業		社協	4	4	4	4	→
総合評価			B	B	B	A	↑
その他(基盤整備・災害における取組・福祉教育)	1. 施設基盤整備						
	地域福祉の一環として福祉活動拠点施設の整備	市	3	3	3	3	→
	地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	社協	2	3	3	3	→
	2. 情報基盤整備						
	社会資源情報の収集整備(地域福祉の手引き)	社協	3	3	3	3	→
	災害時要援護者・平常時の要支援者の一元的データ管理	市	2	3	3	3	→
	計画推進の成果の評価等	市・社協	—	3	4	3	↓
	3. 人材基盤整備						
	ボランティアセンター運営	社協	3	2	3	3	→
	ボランティア活動支援	社協	1	3	3	3	→
	福祉人材バンク	県社協	3	3	3	3	→
	4. 災害時における取組						
	災害時要援護者支援計画	市	2	3	3	3	→
	福祉避難所	市	3	3	3	3	→
	災害ボランティアセンター	社協	3	3	3	3	→
	災害ボランティアネットワーク連絡協議会	社協	2	3	3	3	→
	5. 福祉教育						
出前講座	市	3	3	3	3	→	
地域福祉講演会	社協	3	3	3	3	→	
階層別福祉教育(若年層・成人層・高齢層)	社協	3	4	4	4	→	
地域における人材育成	社協	3	3	3	4	↑	
総合評価			C	B	B	B	→